

## 校長から大沢中学校生徒の皆さんへ

令和2年5月11日

風薫る5月、校庭の木々は新緑から青葉へと移り、藤やツツジの花が色鮮やかに咲いています。

今日から2日間、担任が戸口訪問を行います。先生方は、皆さんと会えることをとても楽しみにしていて、一人一人へ届けるメッセージカードを書いたり、補助教材をそろえたり、学習課題を作ったりして、準備を進めていました。玄関先でのわずかな時間ですが、家でどのように過ごしているかなどを、お話ししてほしいと思います。



「6／1（月）学校再開」と、新たに示されたものの、3月からの臨時休業から数えると丸3か月、とても長い期間です。この期間、様々な行事が延期や中止となり、皆さんは、残念な気持ちで一杯のことと思います。特に、3年生の皆さんは、中学校最後の年、義務教育最後の年でもあり、悔しい気持ちがひとしおと思います。しかし、今回のいろいろな措置は、一人一人の大切な命を最優先にしたものですから、今は皆で我慢が必要な期間であることを、理解しなければなりませんと思っています。

さて、学校はというと、当然ですが、校舎には生徒が誰もいなくて、空っぽで、本当に寂しいものです。学校は、一人ではなく集団で生活し学習することに意味があって、「生徒の皆さんがいてこそその学校」ということを、改めて感じています。当たり前前に生活していた毎日が、こんなにも大切なものだったのかということを実感する日々です。

これから先、不安な気持ちもありますが、決してマイナス面ばかりに目を向けるのではなく、こうしたことになったからこそ気付くことができた、日常のすばらしさをかみしめ、前向きに考えていきましょう。

そして、たとえ、物理的には離れていても、心の結び付きは失うことなく、今は離れた場所から、お互いの良さを認め合う時間にしていければと思います。私たちは、離れていても心ではつながっていますし、決して一人ではありません。担任や顧問の先生とのつながり、友だちとのつながり、学級や学年、部活の仲間とのつながりを大切に思い、優しい心で生活しながら、学校再開の準備をしましょう。



不安や心配なことがあるときには、いつでも先生方に相談してください。HPに、「相談窓口一覧」を載せました。電話もメールもOKです。

こんなことぐらい…と、思わずに、遠慮なく連絡くださいね。